

Forest 通信 H31 3

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.361



高尾山の生きものたち

ツマキチョウ

(シロチョウ科)



翅の先の蜜柑色がきれいな蝶。春になると飛び回り、花によくとまるツマキチョウだ。翅の先を意味する褸(つま)が黄色なのでこの名前がついた。

ほぼ全国の平地から低山の林縁や草地、公園などに生息し、高尾山付近でも見られる。モンシロチョウに似ているが、やや小さく、翅先のカギ状の形と裏面の雲状の模様が特徴。雄の翅先に橙黄色がある。日中、低い場所を直線的に飛び、ときどき花に吸蜜に訪れる。

成虫は、4月頃のみ発生し、卵を食草の花穂に産む。5月頃に孵化した幼虫は、その蕾、花などを食べて成長し、5月下旬頃から蛹になり、そのまま翌春まで過ごす。春の花が開く時に合わせて現れ子孫を残す、春だけ見られる可憐な蝶だ。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

富 ちゃん 皿 ちゃんの

NO.41



アサダ (カバノキ科)

アサダは、高木の落葉広葉樹で他の落葉広葉樹に混じって散生するため、高尾ではあまり見ることがありません。名前の由来も定かではありませんでした。

散孔材。心材は紅褐色、辺材は帯褐色です。心材と辺材の区別は明らかで、年輪はやや不明瞭です。

重硬で緻密なため乾燥や切削などの加工に少々難があるとされていますが、強靱で割れにくく、耐朽性は中程度で表面仕上げは良好で磨くと光沢が出ます。

よく似ているカンバ類と同じような使い方をされ、フローリング、家具、建具、建築造作材などへの利用が多く、特にフローリングには最適と

の評価があります。

また、家具材としてはその色合いからマカバ同様「桜材」の名で流通しています。

なお、アサダには細かい釘を打ち付ける作業を繰り返しても、釘抜けが起きない特別な性質があり、靴の木型に重用されていましたが、現在は資源の枯渇からヒノキなどの集成材が使われているようです。(皿)



アサダの樹皮



アサダ材の木目

出前森林教室 多摩市立 連光寺小学校

2月19日（火）と20日（水）の2日間、多摩森林科学園の連光寺試験林を利用して、多摩市立連光寺小学校の5年生62名が竹の炭焼きを体験。

初日は、開校式の後、6班に分かれて伏せ焼き用の穴掘りからスタート。「いろんな工程をできるだけ児童達に体験させてください。」という学校サイドの思いに沿って、センター職員は、作業手順等を説明し、職員が安全を確認しながら進行。

各班ごと、慣れない手つきながらも交代でスコップと鍬を使い、伏焼き窯づくりに挑戦。各班それぞれ自ら割って節を取った竹を敷並べ、煙突、鉄板乗せ、土被せの工程を経て、いよいよ火入れの段階。順番に、団扇で熱風を勢いよく窯の中へ。

煙突から出る煙を恐る恐る触ってみたり、竹酢液を舐めては、「不味いよ。」としかめっ面。味覚でも感じ取ってくれたようでした。

その後、花炭づくりも体験。みかん、松ぼっくり、ミニひょうたんなど様々なものを入れ込んで、その出来上がりに一喜一憂の様子。

炭焼きの合間を縫っての元多摩森林科学園の大石先生とセンター職員の森林学習では、森林の役

割や林業の話を受講し、翌日の窯出しを楽しみにしつつ初日を終了。

2日目は窯出し。ワクワクしながら出来上がった竹炭をそっとシート上に並べて、出来映えを観察。虹色に輝く竹炭を見ては、「綺麗だね。」と嬉しそう。

閉校式では、児童代表から、「疲れたけれど楽しかったです。」とお礼の言葉を頂き、ご担当の先生からは、「来年以降もまた、継続してやりたいです。」との言葉を頂きました。（草）



伏焼きの窯作りから体験！

出前森林教室 八王子市立 上川口小学校

2月21日（木）と22日（金）の2日間、八王子市立上川口小学校5年生11名が学校の裏山を利用して森林教室（炭焼き体験）を行いました。

1日目は、「炭の作り方」の説明後、2班に分かれて伏焼き窯の準備から炭にする竹材並べ、窯内に熱を送り込むための団扇あおぎに至るまで児童が中心となって行いました。窯から上る煙にはかなり興味を持ったようで、入れ替わり立ち替わり煙に手を当てる仕草も見受けられました。

その後、校内で「森林の働き」について座学を実施。その合間に5年生以外の児童達が各自持ち寄った材料で花炭づくりに挑戦。

2日目は、窯出しです。児童の丁寧な作業の成果もあり、窯から出された炭はきれいに仕上がっていました。これには児童も先生も大喜び。炭の箱詰めと窯跡の片付けを行い、終了となりました。

炭焼きという普段は体験できないことを経験したことで、人の営みや自然と人とのつながりを感じていただけたと思います。（高）



みんなで竹材並べ



5年生以外の児童達も花炭に挑戦



【カレッジⅠ】

日程 平成31年5月18日(土)
内容 講義「森林の見方」
森林散策
講師 一般社団法人 森林・自然環境技術者教育
会 会長 桜井 尚武 氏

【カレッジⅡ】

日程 平成31年7月20日(土)
内容 講義「森に学ぶ～森づくり ことづくり
ひとづくり～」
体験作業(下草刈り)
講師 東京農業大学 教授 宮林 茂幸 氏

【カレッジⅢ】

日程 平成31年10月12日(土)
内容 講義「木の成長としくみ」
体験作業(間伐)
講師 元多摩森林科学園 園長 三輪 雄四郎 氏

【カレッジⅣ】

日程 平成32年1月18日(土)
内容 講義「森林の恵みと共に～炭焼き、そして
森林の香り～」
体験作業(炭焼き)
講師 東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

ご参加お待ちしております

募集人数 : 30人
(応募者多数の場合は抽選とします。)

対象者 : 森林・林業に興味があり、18歳以上
70歳未満の健康で急傾斜地での作業や山歩き
が可能な方。

申込方法 : 往復ハガキに、①住所、②氏名(ふ
りがなを入れる)、③年齢、④職業、⑤電話番号
(自宅と携帯電話)を記入のうえ高尾森林ふれあ
い推進センター「森林カレッジ係」までお申込み
ください。

申込締切日 : 平成31年4月12日(金) 必着

参加費等 : 傷害保険料として300~400円
(年間保険料)程度負担いただきます。

※日程及び内容は変更する場合があります。

【お問合せ先】

関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844
東京都八王子市高尾町2438-1
TEL 042-663-6689
FAX 042-663-7229

※お問合せは、
土日祝日を除く開庁日の8:30~12:00、
13:00~17:15の時間帯にお願いします。

ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

30年度森林カレッジの様子



カレッジⅠ



カレッジⅡ



カレッジⅢ



カレッジⅣ

森林・林業技術等交流 発表会に参加

平成30年度関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会が、2月13～14日の2日間に渡って開催されました。当センターからは、「Mt. TAKAOで「木育」をやっています。」というタイトルで発表しました。

今回の発表会も例年どおり、あらゆる分野からの参加となりました。特に発表者で目立ったのは各森林管理署の一般職員や森林官といった、最前線で活躍している若手の存在感です。そしてテーマの面では、日頃疑問に感じている問題や、効率化・省力化すべき業務の改善など、斬新な視点からのアプローチが目立ちました。

当センターの発表も「木育」の重要性と、これまでの成果について余すこと無く発表ができました。

惜しくも受賞は逃しましたが、発表者同士の充実した時間を過ごすことができました。(磯)



事前に綿密な内容精査と練習



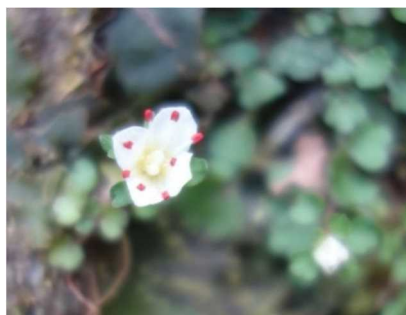
発表風景

高尾山情報

暦の上では春ですが、まだ寒い日が続いています。

それでも、少しずつですが春の気配を感じます。ハナネコノメも開花が始まり、ニワトコもブロッコリのような形をした芽吹きを見せ始めています。

花粉症の方にはつらい季節かもしれませんが、高尾山へ足を運んでみてははいかがでしょうか。



ハナネコノメ (5mm 程度の小さな花)



ニワトコ (ブロッコリみたいな芽)



スギ雄花
(葉の先端部)
※高尾山でも花粉が飛び始めているようです。

編集後記

高尾森林ふれあい推進センターでは、来年度に向けた森林教室の準備を進めています。

教育機関等からの森林教室のご依頼、ご相談を受け付けています。

日程については、先着順となりますので、計画されている場合はお早めにご連絡ください。

Forest 通信 NO.361

発行：林野庁関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター



ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問い合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>